

## 1. 調査目的等

中学校全学年の生徒の学力を把握・分析し、学校における教育指導の成果と課題の検証やその改善及び進路指導に役立てる。

## 2. 学校ごとの指標

入学時の学力を維持・向上させ、全学年が県平均(偏差値50)以上を目指す。

## 3. 指標にむけての取組

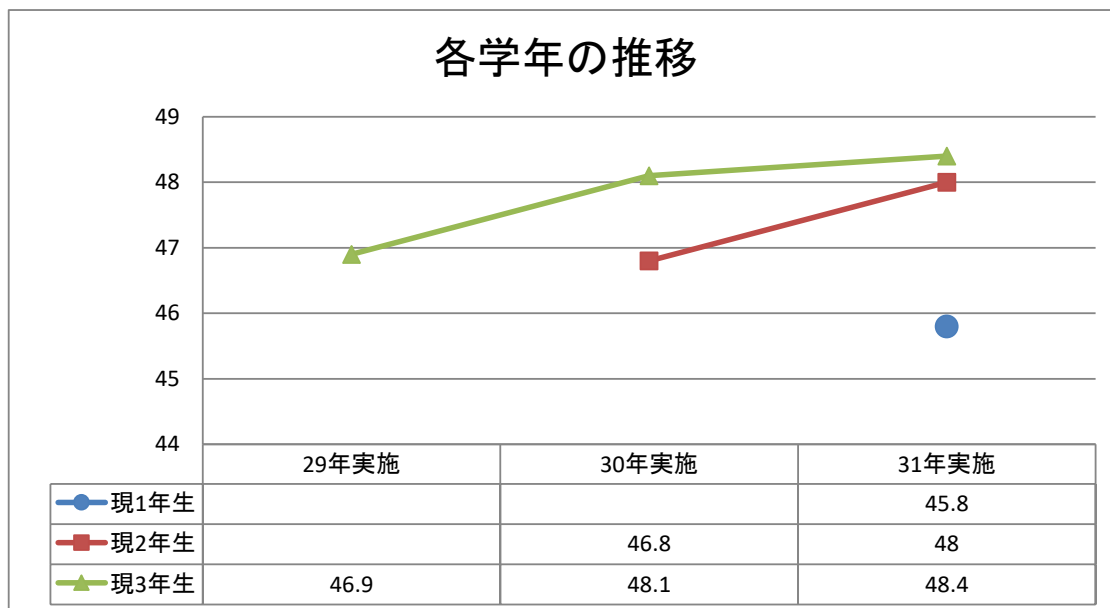
- TTでの個別支援や習熟度別授業(国・数・英)
- 生徒の実態に合わせた家庭学習(週末課題や長期休業中の課題)の工夫(5教科を中心に)

## 4. 調査結果

※学校平均5年間の推移 (標準偏差値50に対して)

年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
本校(A)	46.7	47.2	47.8	48.7	47.5
嘉麻市(B)	47.0	47.3	47.9	49.3	48.8
(A)-(B)	-0.3	-0.1	-0.1	-0.6	-1.3
標準偏差値との差 (A)-(50)	-3.3	-2.8	-2.2	-1.3	-2.5

### 各学年の推移



## 5. 各学校における分析

【1年生】国・算・社・理の4教科すべてで県平均を7～8ポイント下回っている。

【2年生】全体的には入学時より伸びている。県平均を上回っている教科は社会科のみ。数学に関しては入学時より1.1ポイント、理科は2.9ポイント上昇した。

【3年生】2年次からやや上昇している。英語は県平均に並び、2年次に比べ0.9ポイント上昇、理科は約2ポイント上昇した。

〔取組内容の是非〕

・2年生の数学、3年生の英語に関しては1年次よりTTでの個別支援や習熟度別授業を実施することで生徒のつまづきを早期に発見し、定着の厳しい生徒の理解度を高めていくことでポイントアップにつなげることができた。

また、2年生の数学は週末課題として対策プリントを出し、春季休業中の課題にも同じ問題を取り入れたことによる成果が見られる。2年理科では1年次の期末考査の内容の確認テストを実施したり、春季休業中には1年生の内容を課題として課したりしたことが成果としてあらわれた。

・3年英語は春季休業中に課題として主要文法を徹底して復習させたことにより基本的な問題に対応できた生徒が増え、全体的に点数が上昇したことが成果としてあらわれた。

・どの教科も工夫した課題を課しているが、特に国語科では「わからないのではない、量が多い」等で課題に取り組まない生徒が多かったなのでその日のノートを見れば課題の答えを見つけられるように板書を工夫したことで提出率はほぼ100%になった。英語科では授業開始時に課題チェック(毎回)を行い、忘れた生徒はその日のうちに、やり終え提出させるようにした。また、課題チェックでシールやスタンプによる評価を行うことで提出の足跡を残し、日々の積み重ねが見える評価を行ってきた。

## 6. 各学校における今後の取組

・基礎基本の定着を図るため、既習内容の復習や小テスト、単元テストなどきめ細やかな指導を継続して行う。

・家庭学習の時間確保のため、自学ノート・週末課題を全校あげて取り組む。具体的には本校で取り組んでいる1年90分、2年100分、3年120分以上の家庭学習時間を確保できる程度の課題を提示し、60～70%の生徒が確保できたと答えるように学期に1回家庭学習時間調査を実施する。課題未提出の生徒がいた場合は教科担任・学級担任・部活動顧問が連携して、その日のうちに提出させる。

・予習の推進に関しては、本校生徒の学力実態として基礎基本の定着に時間がかかるため学習内容の定着(復習)に重点を置いており、推進するまでには至っていない。今後、校内の学力向上委員会でも議論を深めていきたい。

・今年度から、これまで朝読書の時間として使っていた時間帯を期間を決めて朝学習に取り組んでいく。目的としては、5教科における基礎学力の定着を第一に、また定期考査対策、フクト対策として位置づけていく。

・学校の教育活動全体に「基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着」「話し合う活動」を位置づけており、入試問題の傾向(思考力を問う問題等)に対応できるようにする。

・今年度は、ふくおか学力向上推進事業に係る非常勤講師を数学に1名、課題対応非常勤講師を英語に1名配置していただいた。数学は全学年TT授業＋個別支援、習熟度別分割授業を、英語は少人数分割授業や習熟度別分割授業を行う。

## 7. 嘉麻市教育委員会としての今後の取組

◎今後の取組を具体化し推進することができるように、特に、次の3点について指導助言及び支援を行うとともに、周知徹底できるように継続的に指導する。

◆嘉麻市学力向上プランに設定した「家庭学習」を推進する。そのために、個に応じた学習課題の提示を進めるとともに、自学の習慣化に向けた具体的な取組の具体を提示する。

◆嘉麻市学力向上推進委員会に基づく学力向上検証改善委員会を開催し、「思考力・表現力等を問う定期考査」の実施、それに伴う授業改善を推進する。また、各学校が作成した「思考力・表現力等を問う定期考査」問題を交流する場を設定することで、質の向上を図る。

◆嘉麻市学力向上推進委員会に基づく学力向上検証改善委員会を開催し、個に応じた習熟度別指導を推進する。また、学力向上推進員による若年層の教員を対象とした授業改善指導を実施する。